

第4回学校運営部会 議事録

(1)日 時：令和4年11月18日（金）午後7時より、（教育会館 第5研修室）

(2)参加者：委員（6名）、事務局6名

(3)内 容

①部会長あいさつ

②資料説明及び意見交換

・新中学校像（修正案）について

・ZEB化について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（新中学校像（修正案）について）

部会長 ・まず新中学校の学校像（修正案）について事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ・一昨日の施設整備でいろいろご意見をいただき、できるだけ沿うように直しをしたものが今日の資料。説明をさせていただくので、思い出しながら聞いていただきたい。三田村部会長は初めて聞く話にもなるし、来週の再編準備委員会も委員長として出席していただくのでお願いしたい。

（新中学校像（修正案）を説明）

1 新中学校が目指す教育

（1）はじめに

（2）新中学校が目指す教育

2 目指す学校像

3 目指す生徒像 4つのC

4 新中学校における特色ある教育内容

部会長 ・議論をしてきた中で変更点の部分等お気づきのところがあればお願いしたい。

委員1 ・とてもわかりやすくなったと思うし、ワーキングチーム会議や校長会でのいろいろな話を含めて意見を言いたいと思う。校長会では高校を残すために中学校を作りますみたいに誤解される部分があったので、単に中学校と高校を併せてというような話ではなくて、勝山の教育の魂みたいなものとして、みんなが一緒になって勝山ならではの教育を作るんだということが伝わるようにと言ってきた。そのような趣旨も含めて、小中高、さらには生まれてから18歳になるまですべての子どもをしっかりと育てるそういう教育体制を作り、その一環として中高の話を説明することでいろんな心配される意見に対しても趣旨を理解していただけたと思う。一番最初の案のときには、中高一貫教育のねらいの部分は一連の文章の中にあった。ワーキングチーム会議の中でたくさんあってわかりにくいということで、箇条書きにするとか図式化するとかという意見が出て、このように修正された。ここまで綺麗になると、箇条書きにした部分と4に書かれている部分が重複しているような感じがする。まとめて4のところのねらいの1番は、探究的な話で丸の部分を書いて具体的には・・・、次は、学びについてなのでアシスト授業・・・に入れていく、3番目の自主活動的な話というのは、（4）の話になるので

	<p>そこに入れた方がいい、キャリア教育は追加されたので、4番に対応している、ICTの下りがないが、AIのことを入れるとどうか、そうするとスッキリするかなと思った。40人学級の話はどこに入れるかは別にして、最後の教員との繋がり・・・というのは1の(2)の一番最後のところ、さらに高みへと充実・発展させるとともに 教員間の繋がり信頼関係を高めることで勝山の子ども・・・と入れ込んでしまうと、最後の魂の決意を書く部分で吸収できるかなと思う。</p>
委員 2	<p>・(2)はすごくわかりやすくなった。自分も同じことが2回出てくるなという印象を受けた。連携型中高一貫教育のねらいに関して、主語が取れているような文章になっているのではないか。中学生が地域と連携した探究学習をより充実させ・・・は中学生が主語か。</p>
委員 3	<p>・ここの主語は無い形、中学生が地域と連携した探究学習をより充実させる。私たちは的なものがないだけ。</p>
委員 4	<p>・細かいことだが学習意欲や進路意識の向上・・・の進路意識という言葉はあまり聞き慣れない。</p>
委員 5	<p>・子どもの表記についてはこだわりはない。中高一貫教育のねらいというのは、1の新中学校の目指す教育の(2)の中に入れてもいいものか。(2)の終わりのところに中高一貫教育があってそれを詳しく言うところ。みたいなものになるといいのかなと思った。確かに同じようなことが2回あるのでそれに入れた形の方がいいのかわからなくなってきている。大学進学が高い目標なのか、今の時代に合っているのかなと思った。</p>
委員 6	<p>・同じようなことがかぶっていて連携型中高一貫教育のねらいがわかりにくいかなと思った。とともに が多いからではないか。あっさり書いて詳しいことは4番で説明している部分でと思った。中高一貫のねらいの適正規模の人数で学習するというのは勝山のよさの一つになると思う。中学校が適正な規模で勉強できるというのは、むしろ大きい(2)の頭に入れる方が、再編をして適正な規模でできるということで前の方に入れる方がいいかな。そうすると残っているものが4と連携しやすくなるという気がする。</p>
事務局	<p>・ねらいを4の(1)～(5)に落とし込めばいいのではないかという話が1つ。4はシンプルに書いているところがあってほかの文章や項目と整合性を保つような感じかと思う。確かにねらいに書いてあることと教育内容というのはかぶる部分はある。書き方を変えることで伝わりなども違うのかなと思ったがどちらがいいか、アイデアをいただけるといい。適正規模の話は福井県の学級規模の話はどこかで説明をいれたいという思いがある。少人数だからいい面もあるが教育的には充分ではない面もあり、適正規模は大事だということを繰り返し説明してきたがうまく伝わらないこともあってあげた。</p>
委員 7	<p>・確かに最初の部分は魂の文で、そこに人数のことを入れるのはどうか。</p>
委員 8	<p>・勝山のいいところだと思う。</p>
委員 9	<p>・特色ある教育が5つあるけど、その1つとしてコマとして出した方がいいのではないか。</p>
委員 10	<p>・協働的な学びと結びつけるとどうか。適正な数とか協働的な学びを推進していくところで項目を増やす。</p>
委員 11	<p>・大きな題が新中学校の学校像で、1. 目指す教育、(1)はじめに、(2)新</p>

	<p>中学校を勝山の教育の中核として、(3) 連携型中高一貫教育のねらいと4の内容を丸書きにして入れる。2. 目指す学校像、3. 目指す生徒像、以上。</p>
委員 12	<p>・目指す教育は何かという時に、理念だけ書いてあって何の教育をするのみた いになるより、(3) で中身があった方がスッキリするのかな。</p>
委員 13	<p>・ねらいも書きたいし特色も書きたいしということで混ざるとどちらかの雰 囲気が薄まってしまう。</p>
委員 14	<p>・主として4からのことが書いてあって、連携型中高一貫教育のねらいの部分 は絶対に入りたいものだけを入れる。</p>
委員 15	<p>・目指す教育の中に特色が入っていてもおかしくはない。</p>
事務局	<p>・少なくともねらいと4はかぶりもあるし、ここはまとめる形で整理した方が いいという方向か。</p>
委員 16	<p>・バランスが悪くないのか。今のだと1だけが量が多くなってしまう。</p>
委員 17	<p>・「はじめに」を独立させるとどうか。新中学校が目指す教育を1にする。</p>
委員 18	<p>・「終わりに」を書きたくなる。</p>
事務局	<p>・最初は何もつけずに文章、1. 新中学校が目指す教育、(1) 新中学校を勝 山の教育の核として、(2) 特色ある教育内容、そうすると2、3で終わる から最後が箇条書きで終わるという指摘もあった。4を上にあげるか、ねら いを4にいれるか。最後に教育内容が並んでいた方がいい感じはする。最初 は例えば、タイトルをとって勝山市では から始まる。(2) の新中学校を 勝山の教育の核として のところを(1) 目指す教育として、この新中学校 を勝山の教育の中核として というのは、目指す教育の横にサブタイトルみ たいにする。2. 目指す学校像、3. 目指す生徒像、4. 特色ある教育内容 としてねらいのマルを入れ込む形で書く。少し整理されている感じがする。 一つ気になるのは、連携型中高一貫教育という言葉が導入しますと出てき て、今の感じで整理すると後は出てこない。</p>
委員 19	<p>・このままねらいを書いておいて、重なる部分を少なくして、それに基づいて 4で具体的な説明にならないか。</p>
委員 20	<p>・連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育という形にするとどうか。</p>
委員 21	<p>・特色ある教育というのがあって連携型の教育のねらいもあって、これが交 わる部分もあれば交わらない部分もある。混じっている部分が結構あるから実 感がない。はみ出た部分も書きたいならまとめて書くことになる。</p>
委員 22	<p>・そこを整理して重なる部分はここに書いてあったことだなどできると重複感 はなくなる。</p>
事務局	<p>・連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育内容と付けると新中学校はいろ んなことをするが、その中で連携型中高一貫教育に関する特色ある内容を書 きますということになる。</p>
委員 23	<p>・並んでいるのを見ると何がしか全部関係するみたいな気がする。</p>
委員 24	<p>・印象もある。多分、連携型しか特色がないのかととられるのもどうか。分け てあった方がアピールにはなる。</p>
委員 25	<p>・新中学校が目指す教育だけにしてしまうと、例えば「知・徳・体のバランス のとれた」のような一般的な中学校に書いてあるものも全部書かなくては いけなくなってしまう。ここではあくまでも中高一貫に関係する特色あること だけを書いてありますとしておかないと、あれはどうするのか、心の教育は</p>

	<p>どうかなどとなってしまふ。今は中高の話だけ書いているという形。</p>
委員 26	<p>・なぜ勝高の敷地に建てるかというところ、連携型中高一貫教育のこういう素晴らしいところがありますよというところはアピールすべき。今の形の方がいいのではないか。</p>
委員 27	<p>・4の特色ある教育内容とした時の(1)として連携型中高一貫教育を書くかどうか。特色ある教育内容の(1)として絞って書く。(2)探究的な学習とするとどうか。</p>
委員 28	<p>・リンクして書いてあるから探究は中高一貫と関係がないのかとなる。項目と中高一貫を含めながら5つができています。サブタイトルに連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育内容と書く。</p>
委員 29	<p>・そうすると先ほどの意見のように分離が難しい。</p>
事務局	<p>・大きな話は最初に書いているから具体的な教育内容は中高一貫を確認してやっていくということになる。知・徳・体とか全ては書ききれないし、そんな議論もしていない。基本計画になるので勝高に建ててこういうことをやっていきます、では施設はという流れもある。このようなどころでよろしいか。1. 新中学校が目指す教育、(1)はじめに、はとって文章のみにする。次に1. 目指す教育、サブタイトルとして新中学校を勝山の教育の中核としてとす。2. 目指す学校像、3. 目指す生徒像、4. 特色ある教育内容としてねらいを入れ込む形で書く。</p>
委員 30	<p>・最初に題がないことで座りが悪ければ背景とか。無くてもいいが思い浮かべばつけるといい。</p>
事務局	<p>・目指す教育という1を残した方がいいのか。戻してもかわらないのか。</p>
委員 31	<p>・内容的にはどういう形になっても構わない。書いてある内容ではなく、構成の話をしていく。書きやすいようにしてもらえばいいのではないか。</p>
部会長	<p>・細かいところでいくつか指摘があった。大学進学のところはどうか。</p>
委員 32	<p>・難関とつけば、高い目標にはなる。</p>
委員 33	<p>・アシスト授業とティームティーチングとは少し違うような気がする。</p>
委員 34	<p>・アシスト授業がねらいに出てくるべきだが、具体的なティームティーチングがねらいに出てくる。</p>
委員 35	<p>・高校教員によるアシスト授業はだれが主なのか。</p>
事務局	<p>・中学校が主で授業の場面によって違うと思うが発展的な学習になったら個別指導とか、タブレットを使ったりとかになる。基本は、高校の学習に接続するとか、中学校段階の理解を高校の学習にも触れて、より深化するとか定着することを全員の目標にする。習熟度に応じてもっと難しい問題をやってみたいという子は、発展的なことをするという意味。理解度に応じて発展的な学習も実施するという表現もできるが、保護者にわかるかなと思った時に大学進学という言葉を使った方が伝わるのかなという思い。</p>
委員 36	<p>・大学進学をとって、高い目標を持つ生徒にとするとどうか。</p>
委員 37	<p>・具体的に書いてないと、高い目標となると崇高な気持ちだけみたいな感じになる。</p>
委員 38	<p>・高校の教員が教えることによって、自ら高校の内容を勉強しようとか、意欲につながる。子どもにとっては中学や高校でとどまらないかもしれない。</p>
事務局	<p>・中学校でも高校の問題をどんどん解いたりする子もいる。中学生にとっては</p>

大学はあまりイメージがないかもしれないが、中高連携をするのなら中学校段階から高校の先生も関わるし、大学頑張ろうと思う子には高校一年生の問題にも挑戦してみるとか、自由にやってもいいという指導はしたい。できればこのままでお願いしたい。進路意識という言葉は使わないのか。

委員 39 ・高校は進路指導の先生の間でよく使う。

委員 40 ・進路選択は使うからそれに対する意識ということではないか。

事務局 ・高校は大学もあるし、専門学校とか就職とか出口がたくさんある。だから進路意識という言い方をする。

部会長 ・勝山高校だけではなくて、職業系の高校や専門学校に行く子や定時制にいく子もいる。そういう子を含めた学校はきちんとキャリア教育を目指すべきで非常に重要な位置付けにして入れていただいたことは答申のところでも議論した部分でありがたい。あとオンラインで国内外の学校・機関・・・の機関はわかりにくいのではないか。

委員 41 ・外部機関はどうか。

事務局 ・外部機関の方が少しわかりやすくなるが、機関は一般の人にはわからないかもしれない。

部会長 ・学校や企業など多様な人材にするとどうか。

事務局 ・学校や企業と多様な人材とは別に考えていた。多様な人材とは個人で繋がるという意味。始めは国内外の学校の交流だけだったが、狭いと思って企業や人と繋がるを考えたらこうなった。

部会長 ・学校や企業など多様な人材にしておいて、その中にいろんな繋がりが広がりますよっていう意味で別そんなにおかしくはない。では学校像のことはここで終わりたい。次の施設のところでZEBについてお願いしたい。

(ZEB化について)

事務局 ・一昨日の施設整備以外でも説明させていただき資料は同じ内容となっている。

(資料を説明)

- 1 ZEBとは
- 2 ZEBの定義
- 3 学校施設のZEB導入事例
- 4 中学校におけるZEB仕様の事例
- 5 福井県におけるZEB仕様の事例
- 6 新中学校におけるZEB化の検討

委員 1 ・何年度までという勝山市が目標にしている時期はあるのか。

事務局 ・何年度までという目標はないが脱炭素先行地域というところに応募をしている。全国でも先駆けたゼロカーボンシティを目指して手を挙げている状況でこの選定には今の段階では至っていない。そういうことも踏まえて、新しい公共施設を設置する場合はZEB化の検討はしてみるべきだと考えている。

委員 2 ・勝山市は先駆けて目標を立てていてその流れの中で、公共施設としてこの新しい学校に必要なんだという説明ができるといい。子どもだけではなく保護者や市民を巻き込んだ勝山の教育の中核であるので、環境教育という教育の場所をここへ持ってきたんだというようなことをアピールして皆さんの賛同を得られるようにしていただけるといい。建築の方と相談しながらアピー

	<p>ルの仕方を考えていただければと思う。勝山に降った雪を地下に蓄えて冷房するとかということはこの中に入らないのか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・雪室と言われるが施設でも検討はできると思う。自然のエネルギーも活用することがZEB化との共有となっているので、そういったことも含めて検討はしたいと思う。雪室自体の冷気を例えば夏の冷房に使ったりするのだがかなりのコストがかかる。一度ジオアリーナで検討したことがあるがその時は断念した。今雪室の食材とかそばとか勝山市はいろいろとやっている。施設に対応できるかというところは更に検討していきたい。
委員3	<ul style="list-style-type: none"> ・特に学校はグラウンドを持っているから、グラウンドの下にとてつもない雪をためておいてできるといい。豪雪地帯だからできる提案があると、勝山市としても雪は邪魔者じゃなくて雪を活用できるんだというアピールにもなる。市民の皆さんにもご理解いただくと同時にアピールポイントになるようにしていただければと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは予定していた2つのことで協議をいただいた。何かその他に必要なことがあればお願いしたい。それではこれで閉じさせていただきます。

資料1. 新中学校の中学校像（修正案）

資料2. ZEB化資料